

# IFRS導入に伴う説明会

## 本邦初となる損害保険グループのIFRS導入について

2025年3月27日

SOMPOホールディングス株式会社

# 目次

エグゼクティブ・サマリー	3	<b>(参考2) 各種定義等</b>	
ポイント①IFRS修正利益の考え方	4	修正連結利益の定義	19
ポイント②経営戦略への影響	5	金融商品会計の影響	20
ポイント③株主還元への影響	6	保険負債の経済価値評価と損益影響	21
ポイント④IFRS修正連結利益	7	SOMPO P&Cの主要KPI	22
ポイント⑤IFRS修正連結純資産	8	SOMPOウェルビーイングの主要KPI	23
ポイント⑥導入のスケジュール	9	用語集	24
<b>(参考1) IFRS導入に伴う影響</b>		経営指標	25
IFRS修正連結利益／事業別IFRS修正利益	11		
IFRS修正連結利益／現行修正連結利益の対前年増減要因	12		
IFRS修正利益（損保ジャパン）	13		
IFRS修正利益（SI）	14		
IFRS修正利益（ひまわり生命）	15		
（参考）CSM	16		
IFRS修正利益（SOMPOケア）	17		

※数値は概数、2023年度IFRS実績値は未監査、2024年度予想数値は2024年11月の中間決算にて発表した数値をベースに作成

グループ  
CFOメッセージ

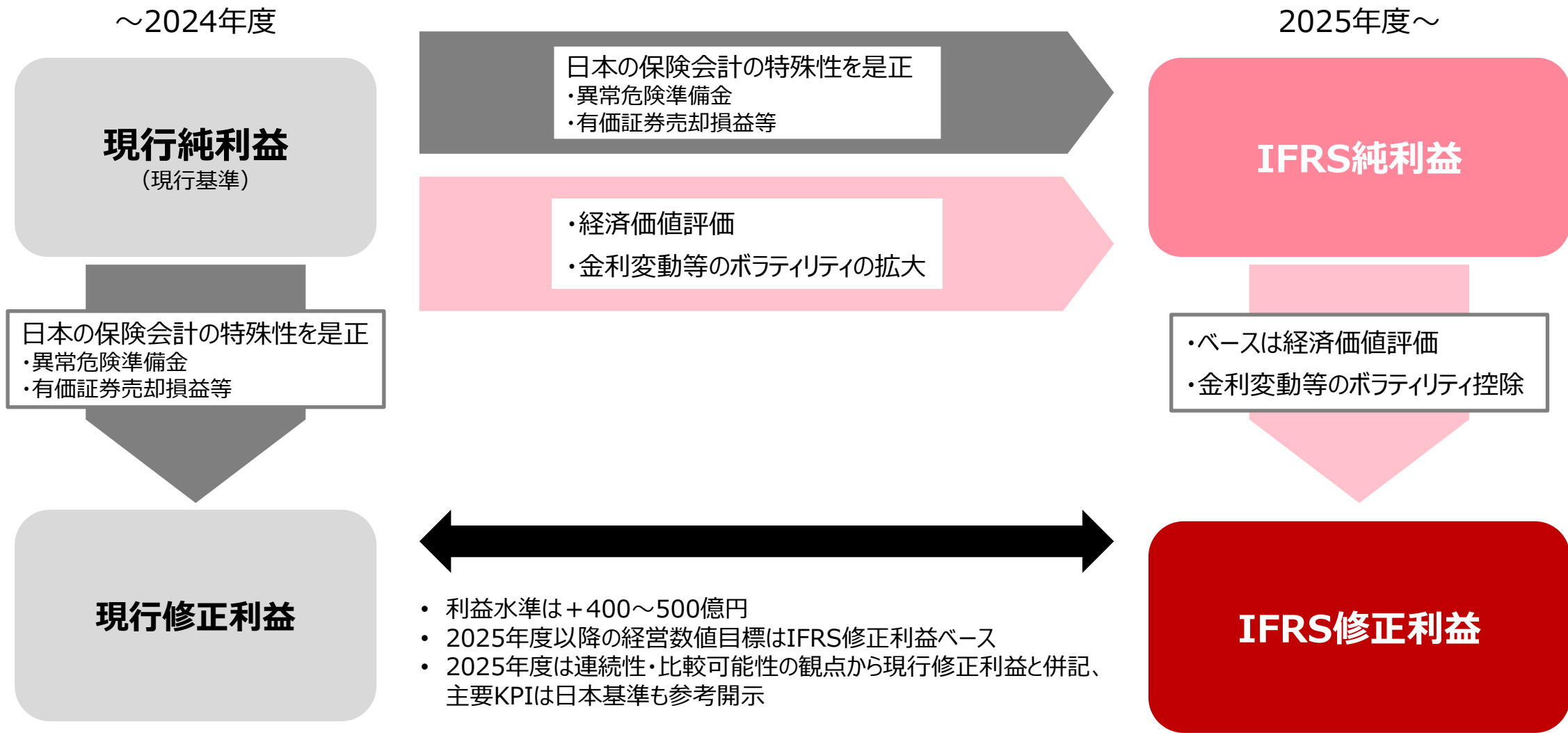
- ✓ IFRS導入の意義は、**グローバル基準への移行とそれに伴う国内生命保険会計の保守性緩和、グループ業績管理の基準統一**
- ✓ IFRSの持つボラティリティを抑制し、**実力値を的確に反映するIFRS修正利益や修正ROEを定義**
  - 利益指標として、**IFRS導入後も修正利益を重視**
- ✓ IFRS導入によって利益水準が切り上がるが、変動はテクニカルなものであり、**経営戦略に影響なし**
  - 本中計策定時の**修正連結ROE目標、修正EPS成長率は既にIFRSベースで設定しているため、変更なし**

財務への  
影響

- ✓ **2023年度のIFRS修正連結利益は、3,350億円程度に増加**（対現行基準 + 440億円）、**2024年度のIFRS修正連結利益（11月予想ベース）は同 + 500億円程度の3,200億円程度**
  - 国内損保事業は、保険負債の経済価値評価による影響で**利益水準が上昇**
  - 海外保険事業は会計期ズレ、適用為替レートの影響あり
  - 国内生保事業は保険負債の経済価値評価による影響で**利益水準が上昇**、将来利益を表す**CSMを重視**
  - 介護事業は**大きな影響なし**
- ✓ 2023年度のIFRS修正連結純資産は、**現行基準に対し△4,800億円程度の3兆1,900億円程度、修正連結ROEの分母が切り下がることでROEにはポジティブ**

# ポイント①IFRS修正利益の考え方

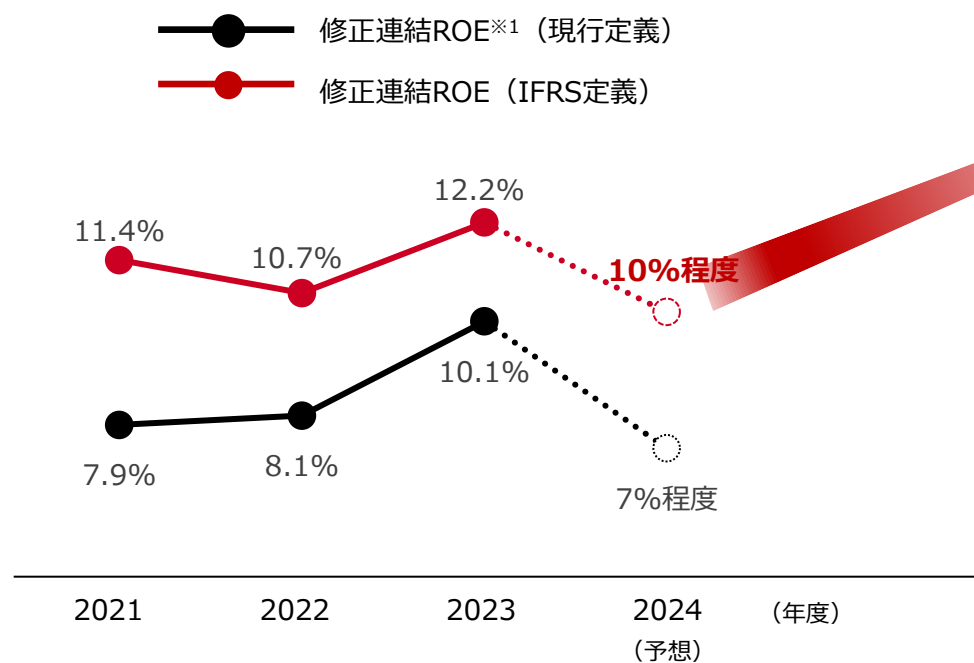
- 現行の修正利益において、実力値を的確に反映しないノイズを控除してきたが、IFRS移行によって解消
- 一方で、IFRS特有のボラティリティが新たに発生するが、本業の実力値を正しく伝えるために、これらを控除した修正利益を重視する方針



# ポイント②経営戦略への影響

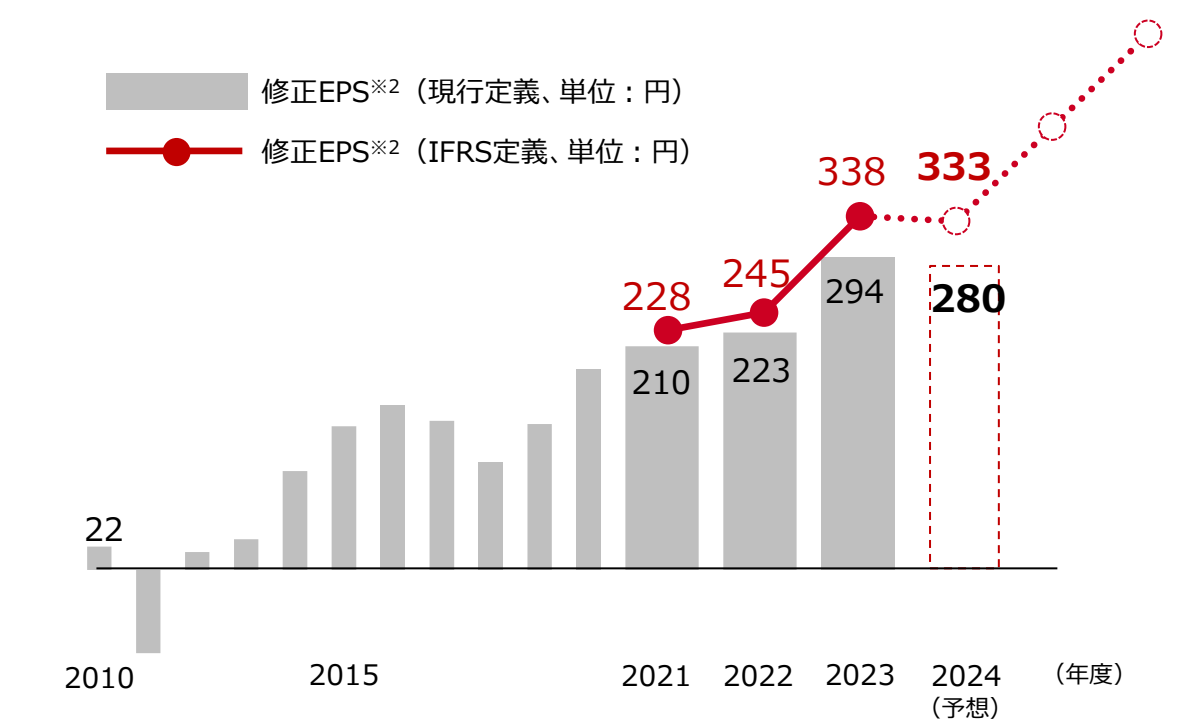
- ・ 会計基準の変更による修正連結利益の上振れはあるが、経営戦略に影響なし
- ・ 中計の経営数値目標である修正連結ROE13~15%、EPS成長率年率12%超は、既にIFRSベースで設定しているため、変更なし

## 修正連結ROE



※1 2023年度は、金融市場変動に伴う資本増加影響等を補正、補正前は9.2%

## 修正EPS

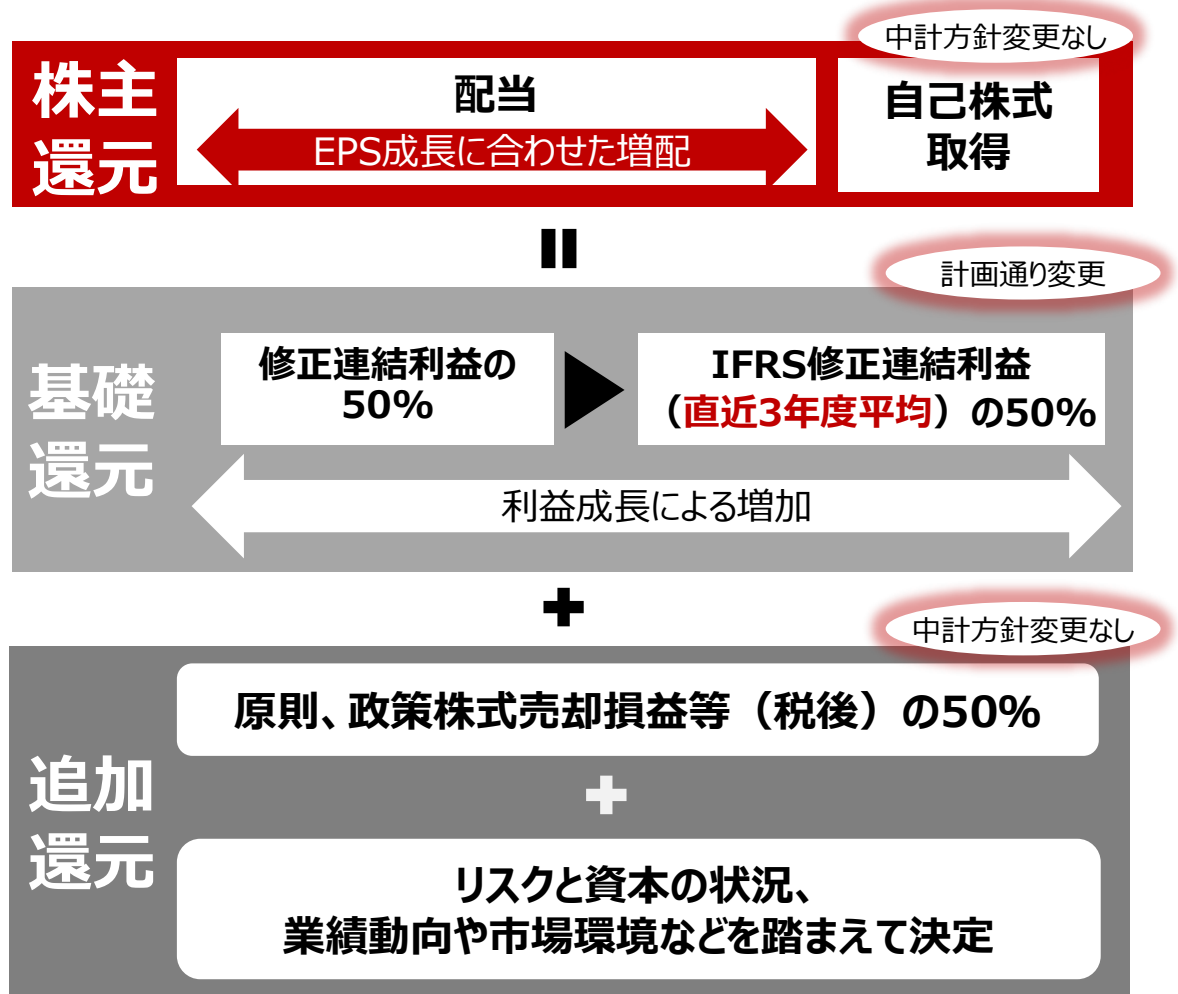


※2 2010~2015年度は2016年度の定義をベースとした試算値。IFRS修正EPSは試算値。  
2021年度、2022年度は平年値ベースに補正

# ポイント③株主還元への影響

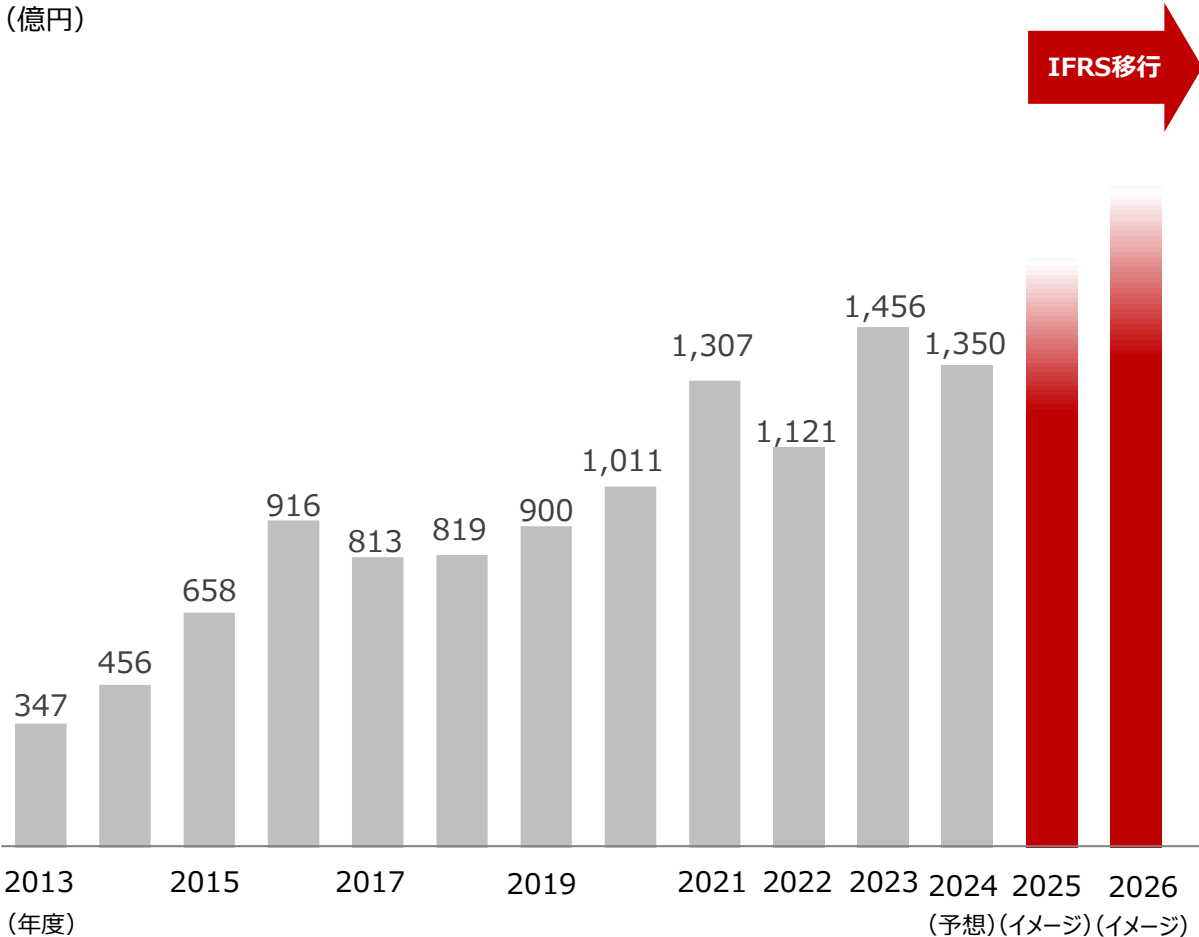
- 安定性・予見可能性の向上のため、中計策定時の方針通り、基礎還元額はIFRS修正連結利益（直近3年度平均）の50%に移行
- 利益の増加に伴って、基礎還元額も引き続き増加していく想定

## 株主還元方針



## 基礎還元額の推移

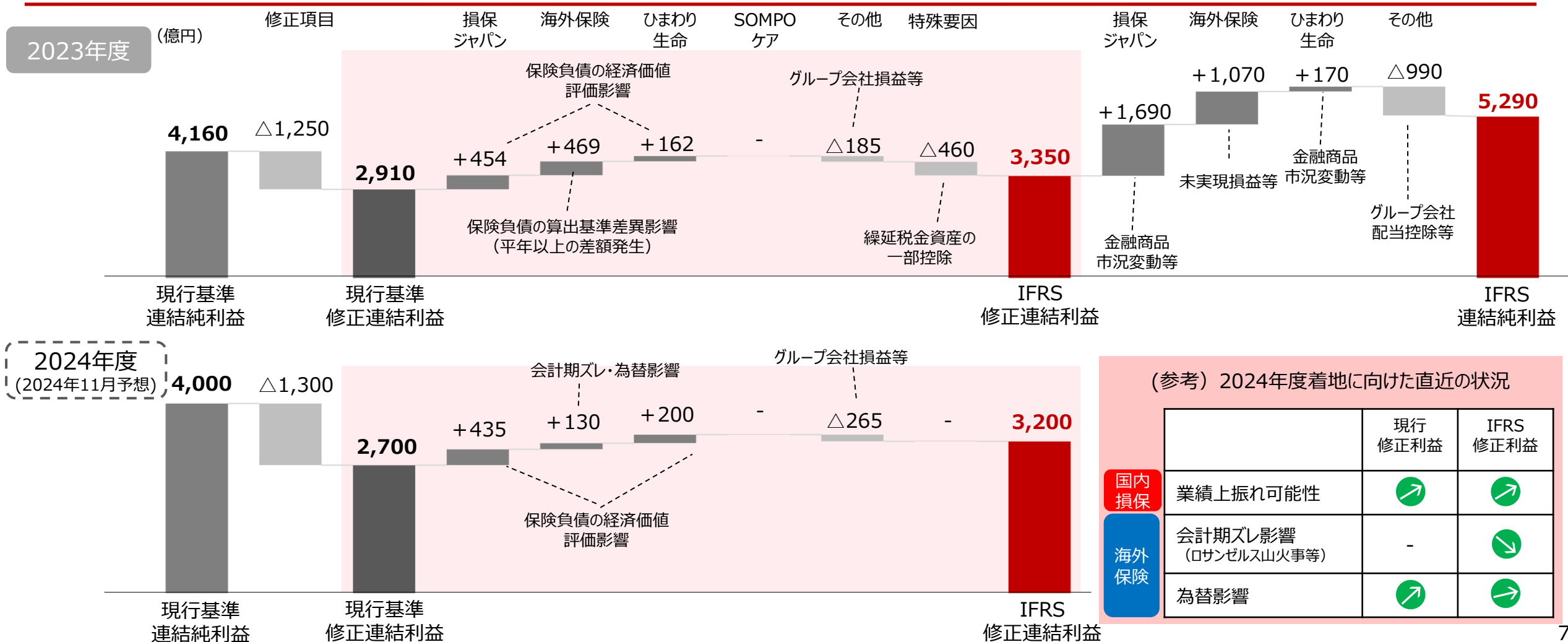
(億円)



# ポイント④IFRS修正連結利益

- 2023年度のIFRS修正利益は、損保ジャパンやひまわり生命の保険負債影響を主因に現行修正利益から約 + 440億円増の3,350億円程度
- 2024年11月予想をベースとした2024年度IFRS修正利益は3,200億円程度を想定

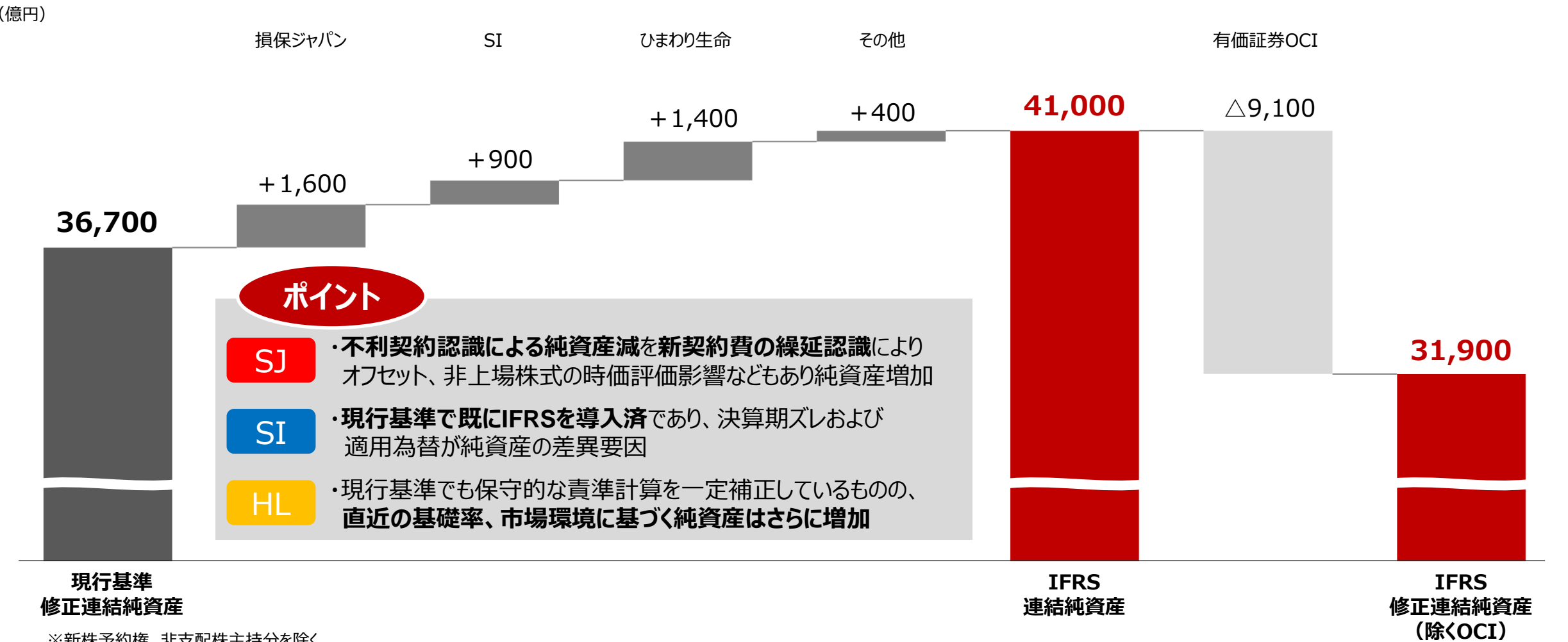
## IFRS修正連結利益へのコンバージョン



# ポイント⑤IFRS修正連結純資産

- 2023年度のIFRS修正連結純資産は、現行基準の修正連結純資産に対し△4,800億円程度の3兆1,900億円
- 修正連結ROEの分母であるIFRS修正連結純資産が切り下がることでROEにはポジティブ

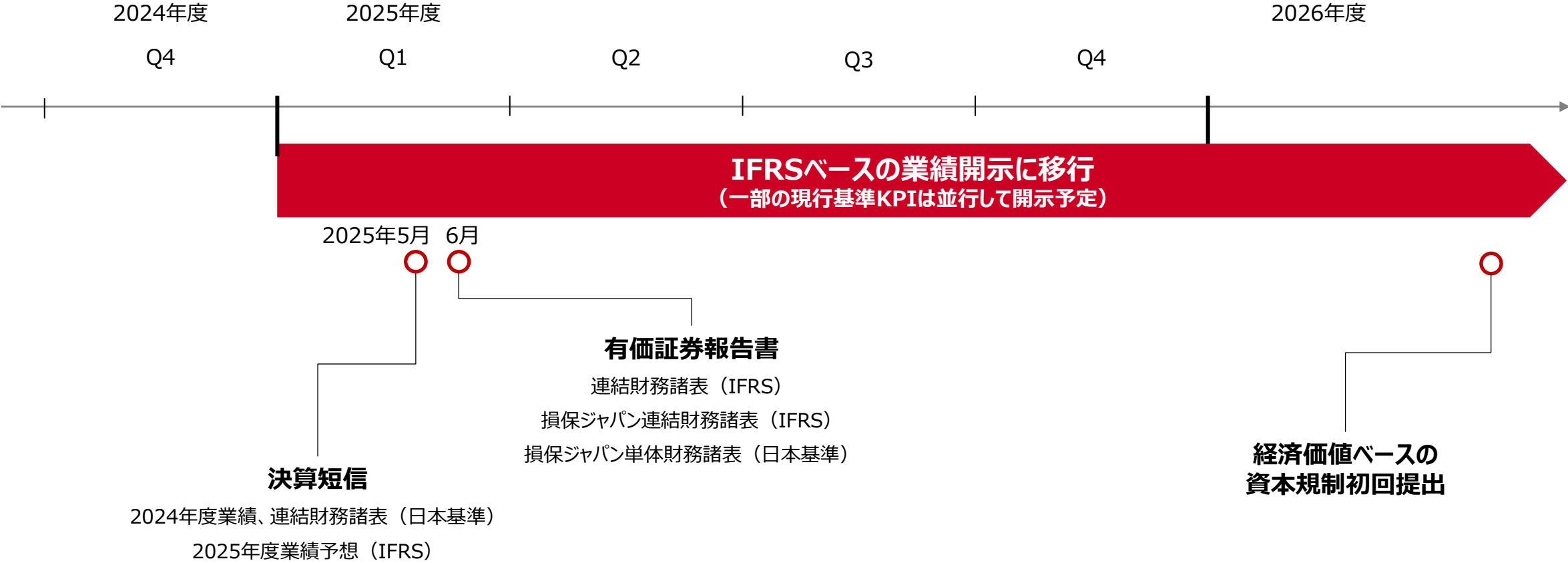
## 2023年度のIFRS修正連結純資産



# ポイント⑥導入のスケジュール

- 2025年5月にIFRSベースの業績予想、6月の有価証券報告書にてIFRS連結財務諸表を公表予定

## 今後のスケジュール



# **(参考1) IFRS導入に伴う影響**



# IFRS修正連結利益／事業別IFRS修正利益

- 2023年度の修正連結利益は+ 440億円程度増加の3,350億円程度、国内損保と国内生保の保険負債影響が主因
- 2024年度の修正連結利益（2024年11月予想ベース）は+ 500億円程度増加の3,200億円程度

## IFRS導入による影響（2023年度実績）

（億円）	現行基準	IFRS基準	増減	主な要因
修正連結利益	2,910	3,350	+ 440	
損保ジャパン	736	1,190	+ 454	保険負債影響
海外保険	1,631	2,100	+ 469	会計期ズレ調整・為替レート
ひまわり生命	418	580	+ 162	保険負債影響
SOMPOケア	60	60	-	
その他※	65	△580	△645	グループ会社損益
修正連結純資産	36,700	31,900	△4,800	有価証券の含み益（OCI）控除

## IFRS導入による影響（2024年11月予想）

（億円）	現行基準	IFRS基準	増減	主な要因
修正連結利益	2,700	3,200	+ 500	
損保ジャパン	315	750	+ 435	保険負債影響
海外保険	1,940	2,070	+ 130	会計期ズレ調整・為替レート
ひまわり生命	410	610	+ 200	保険負債影響
SOMPOケア	50	50	-	
その他	△15	△280	△265	グループ会社損益

※特殊要因含む

# IFRS修正連結利益／現行修正連結利益の対前年増減要因

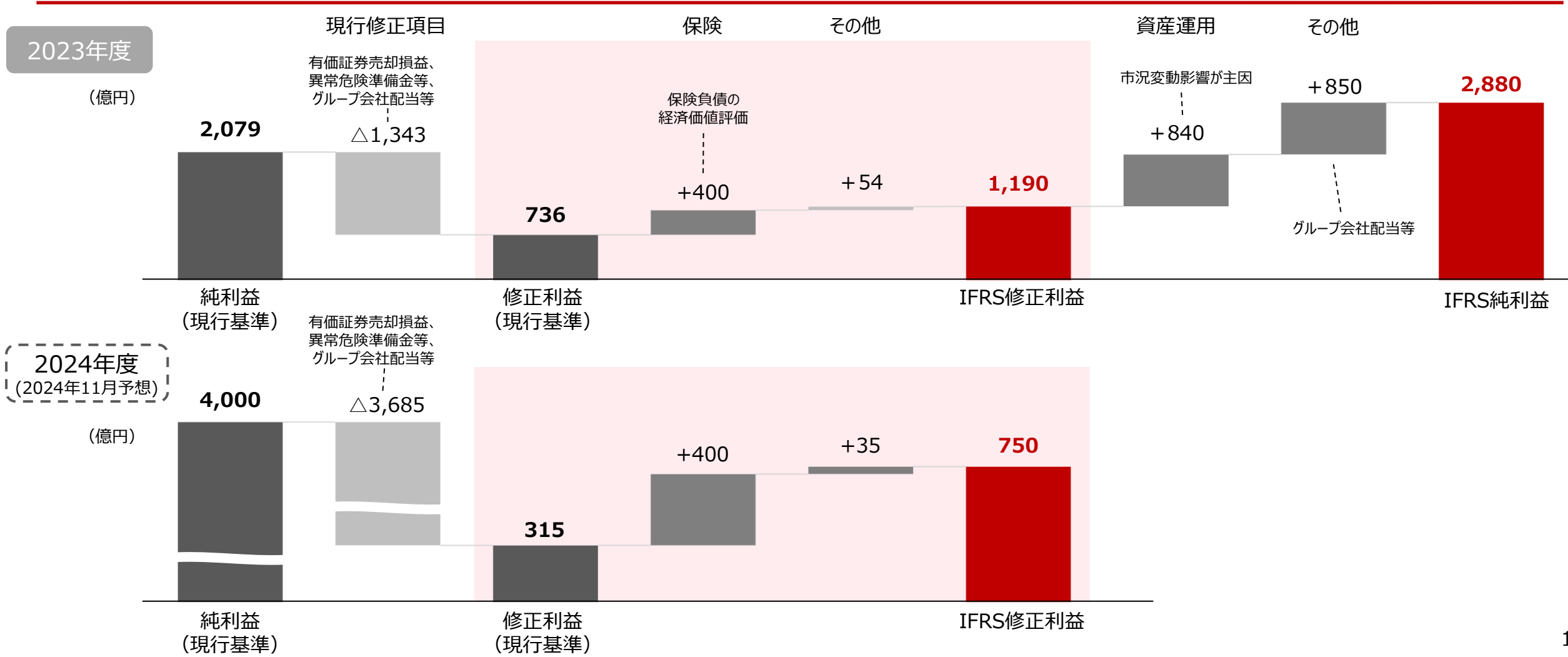
- 2024年度のIFRS修正連結利益（2024年11月予想）は、概ね前年度同水準の3,200億円程度
- 現行の修正連結利益の増減と概ね整合的に推移



# IFRS修正利益（損保ジャパン）

- 2023年度のIFRS修正利益は、現行基準に対し+454億円程度、2024年度（予想）は同+435億円程度の見通し
- 保険負債の経済価値評価などの影響により、修正利益の水準が現行基準よりも高くなり、差異は徐々に減少

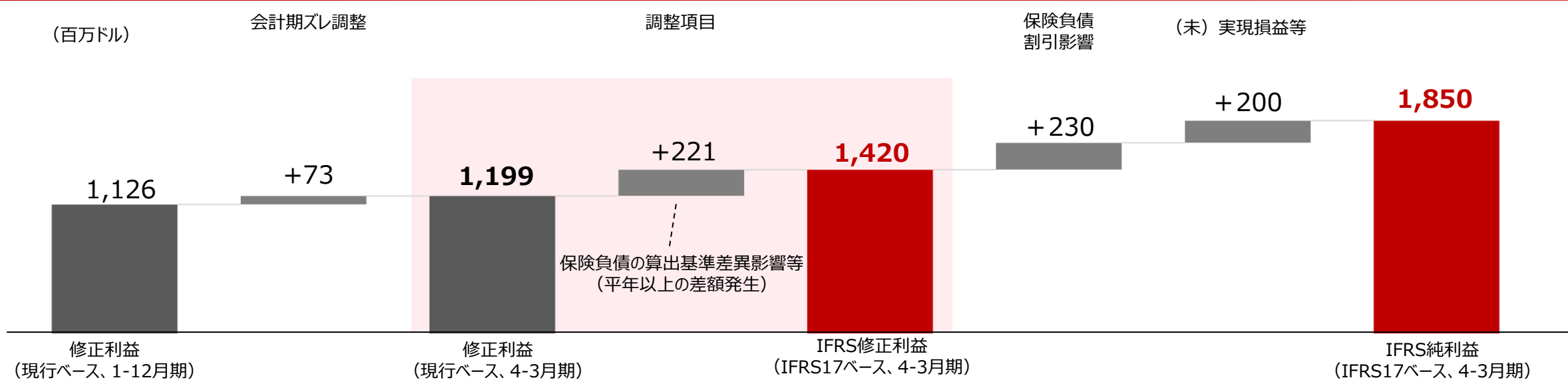
## IFRS修正利益（損保ジャパン）



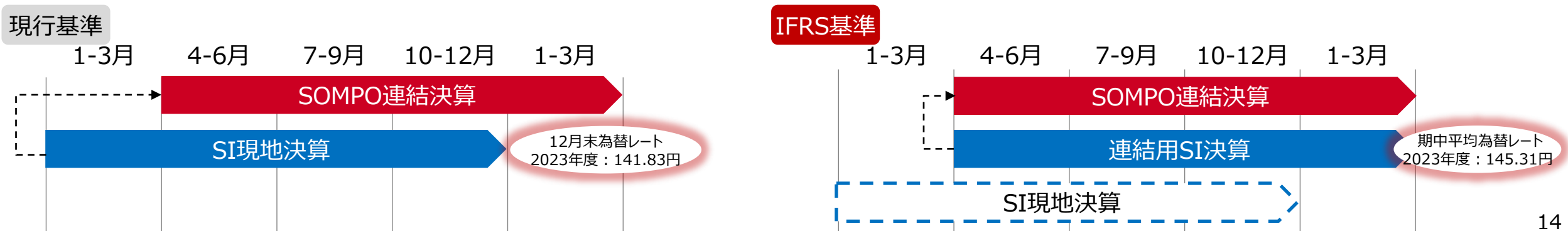
# IFRS修正利益 (SI)

- 海外保険事業の2023年度IFRS修正利益は、保険負債算出基準の差異を主因に現行基準に対して+221百万ドルの1,420百万ドル程度
- IFRS移行で、修正連結利益に算入する際に会計期ズレと為替影響を調整

## 2023年度IFRS修正利益 (SI)



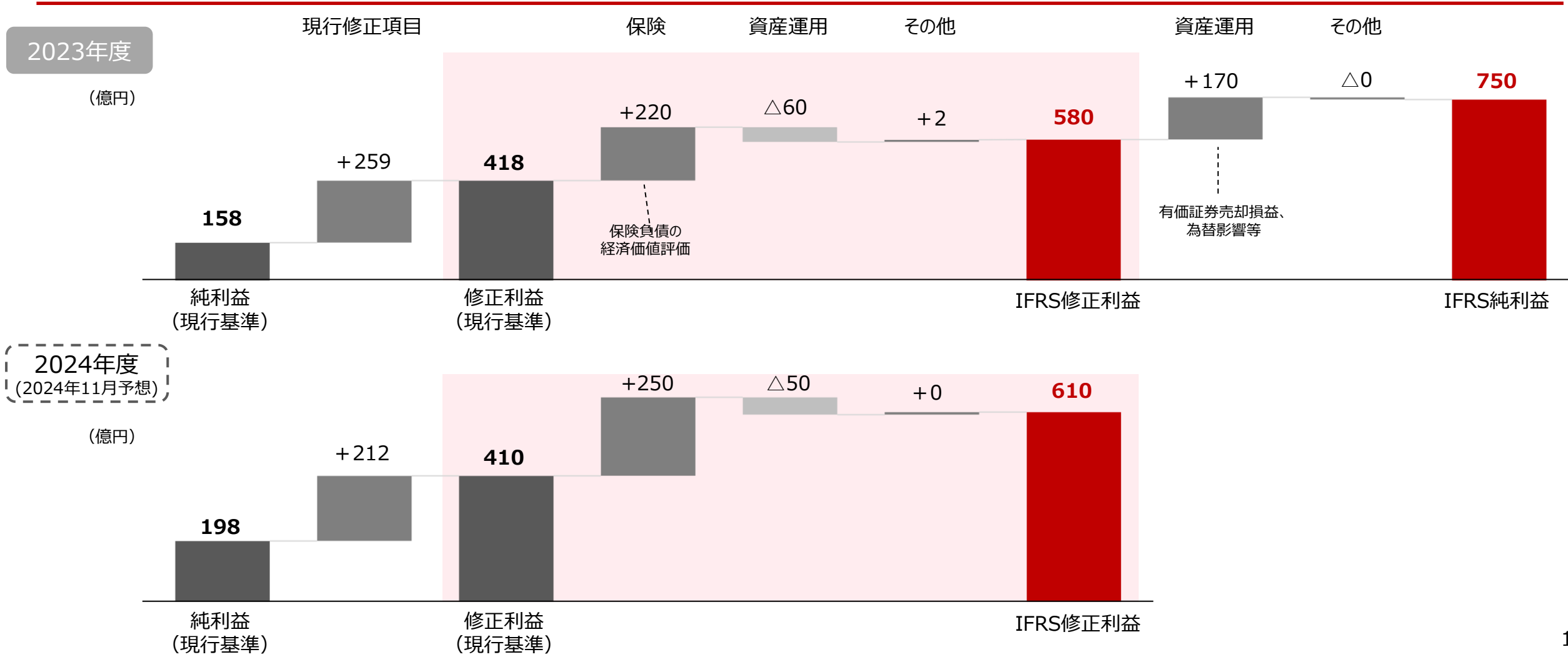
## 海外保険事業の現地決算とSOMPO連結決算



# IFRS修正利益（ひまわり生命）

- 2023年度のIFRS修正利益は、現行基準に対し+162億円の580億円程度、2024年度（予想）は同+200億円程度の610億円程度
- 保険負債の経済価値評価などの影響により、修正利益の水準が日本基準よりも上昇

## IFRS修正利益（ひまわり生命）



# (参考) CSM

- IFRSにおいて、保険契約の将来利益であるCSMが重要指標であり、保険期間にわたって平準的に利益を認識
- 2023年度末のCSM残高は対期初 + 820億円の7,610億円、新契約CSMは680億円

## 新契約CSMのイメージ

### ポイント

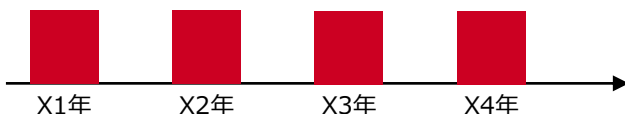
**新契約CSM** = 収入現価 - 支出現価

- 将来の利潤を表す
- 負債として認識し、平準的に利益認識（償却）

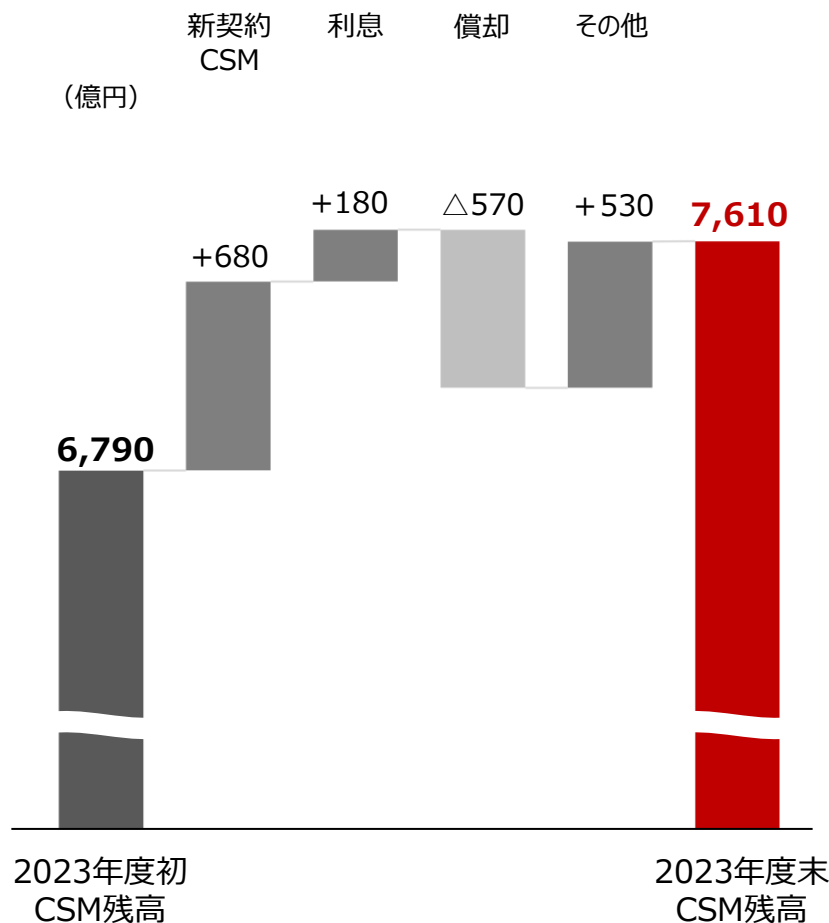
### 新契約時



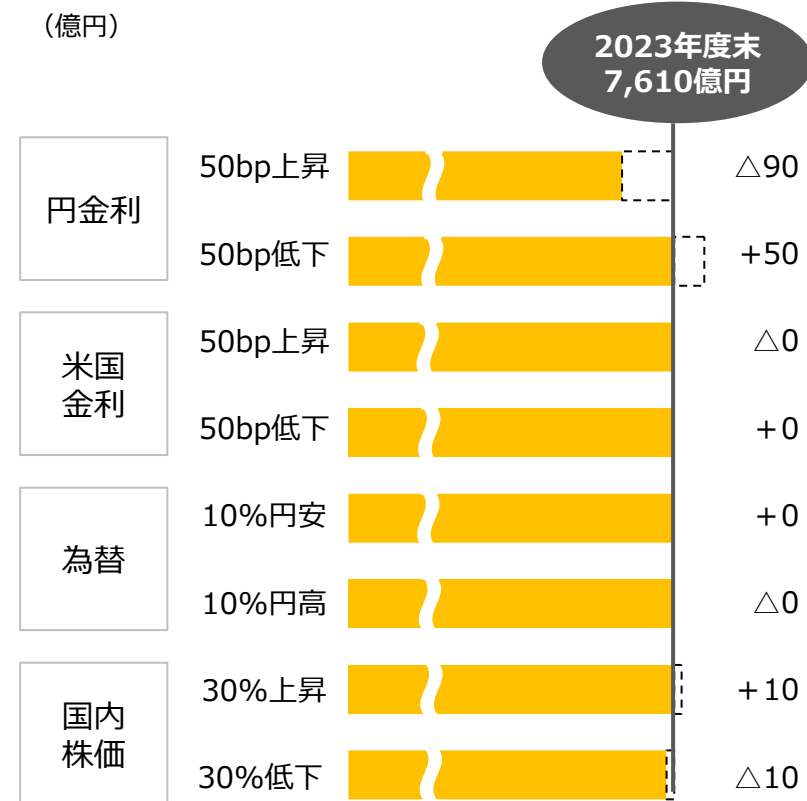
保険期間の経過とともに利益認識



## CSMの変動要因



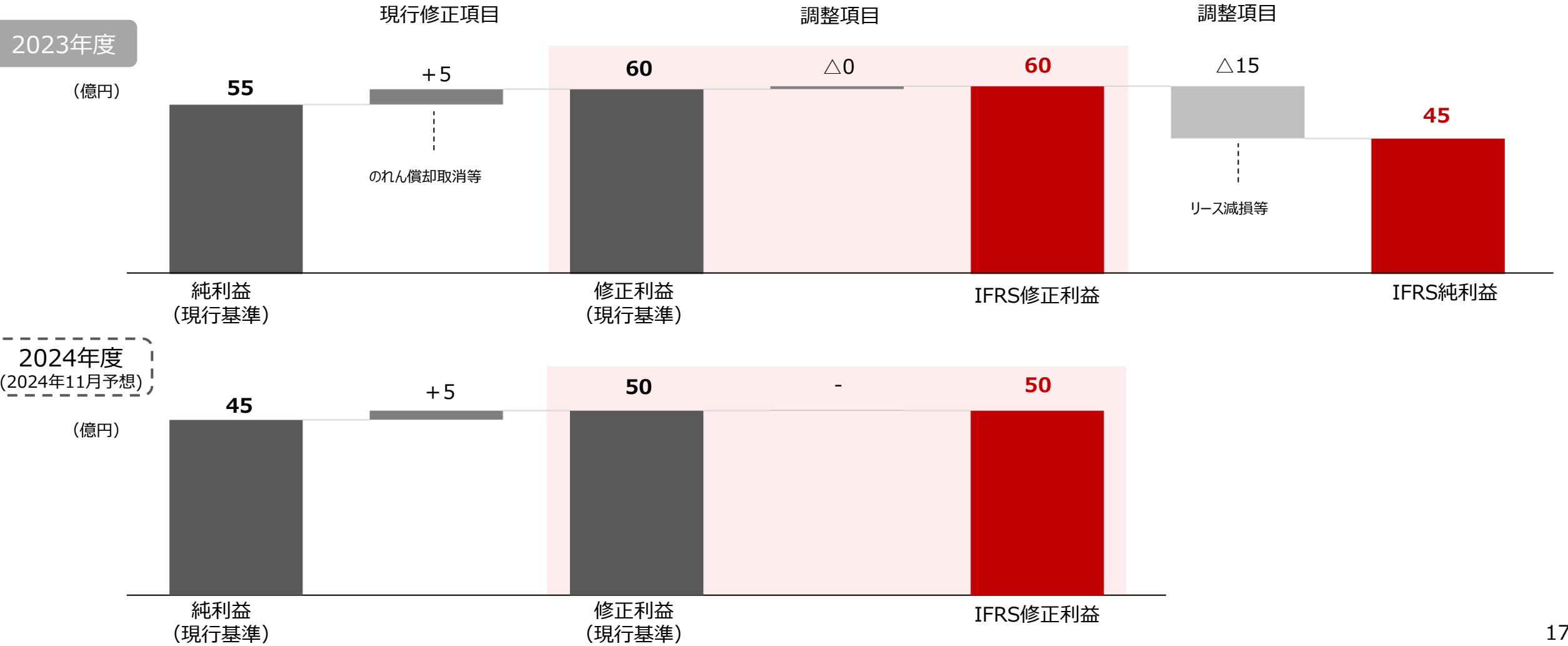
## CSMの感応度



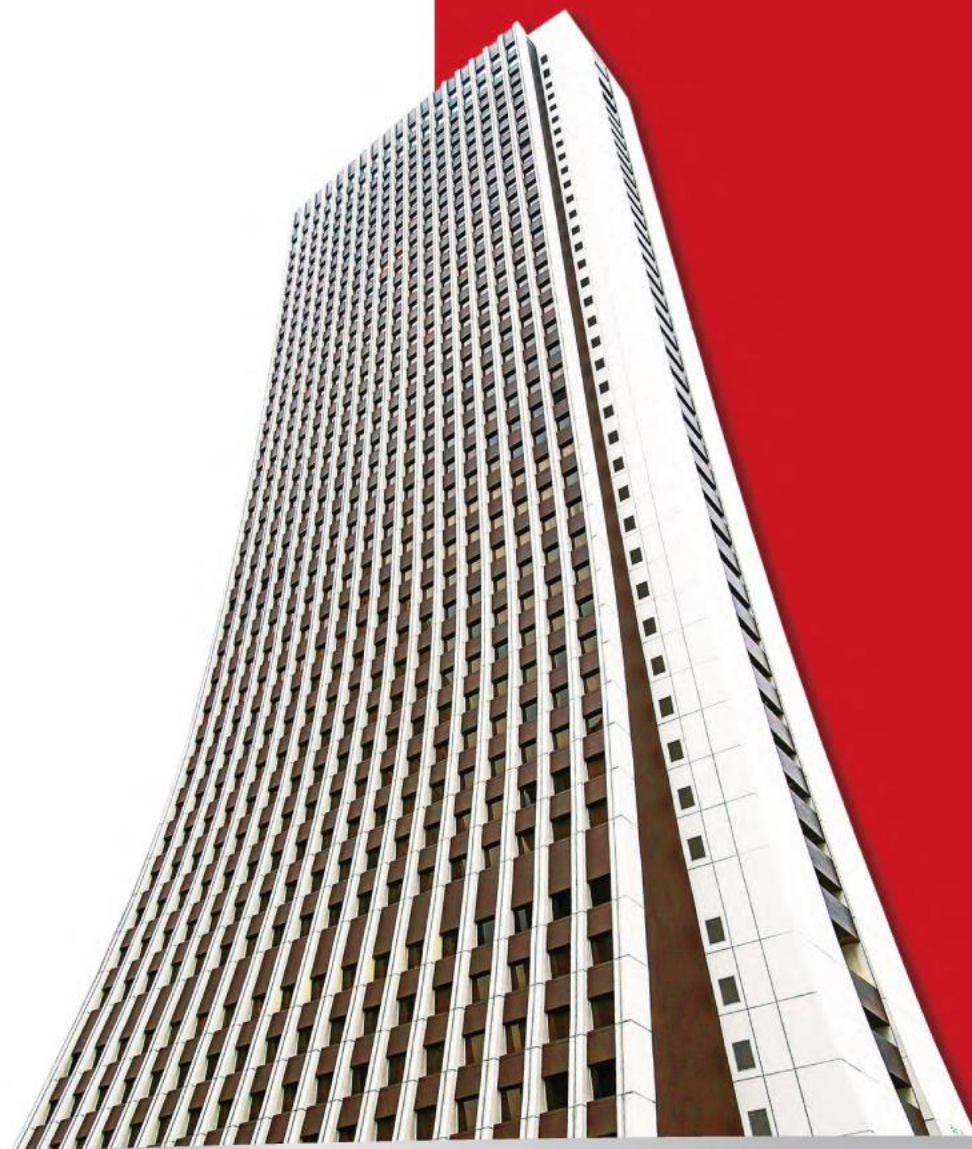
# IFRS修正利益（SOMPOケア）

- SOMPOケアに対するIFRS導入による利益影響は軽微

## IFRS修正利益（SOMPOケア）

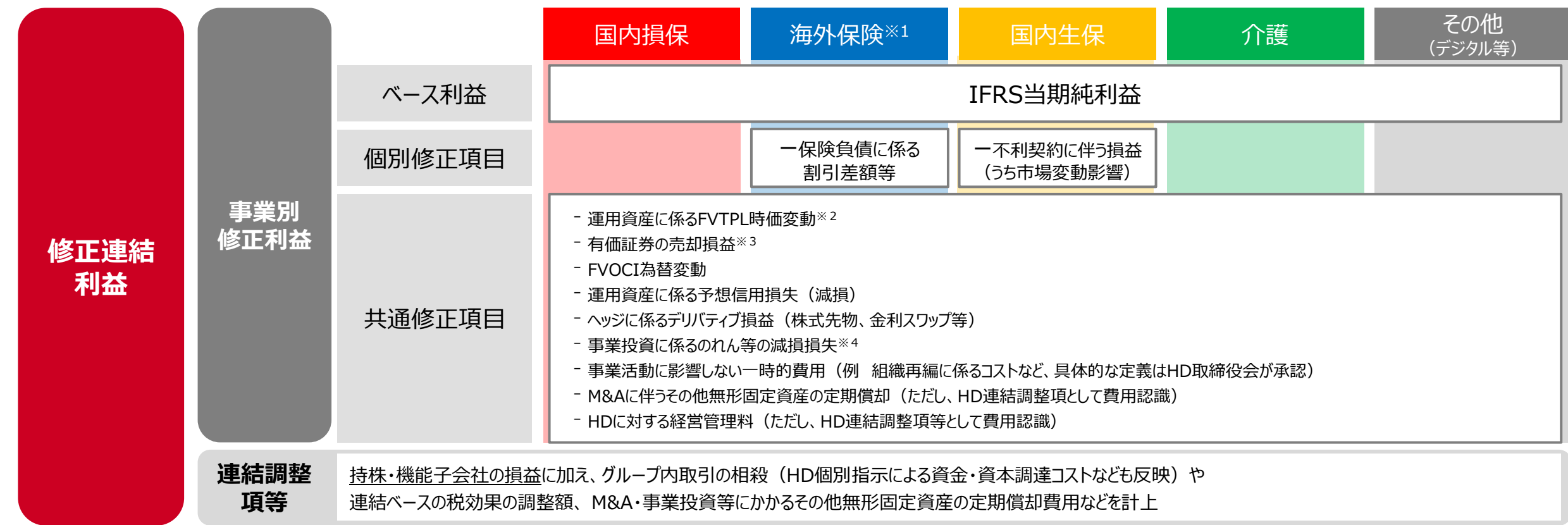


# (参考 2) 各種定義等



# 修正連結利益の定義

- グループおよび各事業の修正利益定義は、事業特性などにより各事業で若干の差異はあるが、**以下の基本3原則に基づき設定**
  - ① 当社グループの**実態・実力を適切に計測**するものであること
  - ② 国内他メガおよびグローバルピアと**比較可能**なものであること
  - ③ 株主還元原資として、**安定性・予見性**があるものであること



※ 1. 海外保険の事業別修正利益は1～12月の会計期間で測定（修正連結利益は4～3月の会計期間で測定）  
 ※ 2. 海外保険は伝統資産の時価変動のみ除外  
 ※ 3. 国内損保および海外保険は除外対象を一部調整  
 ※ 4. 介護は有形固定資産・リースの減損損失（戻入）も含む

# 金融商品会計の影響

- 金融商品の保有目的や性質によって異なる会計処理が求められることとなる結果、IFRS移行後の損益影響は日本基準と相違
- 修正利益上の取り扱いは現状とほぼ変わらず、IFRS移行による影響は軽微

	対象	日本基準		IFRS		損益への影響
		OCI	PL	OCI	PL	
債券	国内 損保 国内 生保	時価変動 為替変動	売却損益	時価変動	為替変動 売却損益	<ul style="list-style-type: none"> <li>IFRSでは為替変動は損益に計上</li> <li>修正利益計算上、為替・売却損益は除外</li> </ul>
	海外 保険		時価変動 為替変動 売却損益		時価変動 為替変動 売却損益	
株式	国内 損保 持株 会社	時価変動	売却損益	時価変動 売却損益		<ul style="list-style-type: none"> <li>IFRSではFVOCI指定をすることで売却損益は純資産でのみ認識</li> <li>修正利益における取り扱いは現状と変わらず</li> </ul>
投信等	国内 損保 国内 生保 持株 会社	時価変動 為替変動	売却損益		時価変動 為替変動 売却損益	<ul style="list-style-type: none"> <li>IFRSでは市場変動が損益計上される</li> <li>FVTPLから生じる損益は基本的に修正利益から除外する方針も、投資目的を踏まえて現行基準と同様に一部修正利益に算入</li> </ul>
	海外 保険		時価変動 為替変動 売却損益		時価変動 為替変動 売却損益	

※海外保険事業は、すでにIFRSを導入済みであり、現行の日本基準においてもIFRSに基づいた処理（FVTPL）を実施

# 保険負債の経済価値評価と損益影響

- 国内損保では採算が悪化した不利な契約をIFRS移行時に時価評価するため、IFRS移行後は当面取崩益が発生する
- 国内生保では日本基準で求められる責準計算の保守性が排除されることにより、現行比でベース利益の引き上げにつながる

		対象	日本基準	IFRS (現行SI含む)	損益への影響
責任 準備金	生命保険等長期契約 (短期契約のうち不利契約含む)	<div>国内 損保</div> <div>国内 生保</div>	保守的な基礎率に 基づく保険負債計算	<b>GMM法に基づく 経済価値評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>損保ジャパンは、長期火災などの採算が悪化した不利な契約をIFRS移行時に時価評価した結果、責任準備金を追加計上する。IFRS導入後は当面責任準備金の取崩益が発生する</li> <li>ひまわり生命の日本基準責任準備金は、契約者保護の観点から標準責任準備金制度等に基づく保守的な基礎率を使用。IFRSでは、保守性が排除され、将来利潤CSMが平準的に利益認識</li> </ul>
	短期契約	<div>国内 損保</div> <div>海外 保険</div>	主に未経過法	PAA法（簡便法）	短期契約は現行基準と類似
	変額保険等	<div>国内 生保</div>	保険負債計算	VFA法	IFRSでは対応資産とマッチングする形で損益計上
支払 備金		<div>国内 損保</div> <div>国内 生保</div> <div>海外 保険</div>	将来CF見積り	割引計算とリスク調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>IFRSでは割引計算分が減算され、将来の不確実性に対応するリスク調整が加算される</li> <li>金利変動に伴う損益については、国内損保・国内生保においてはFVOCI、海外保険においては（資産サイドの金利変動に伴う損益の取扱いと合わせて）FVTPLとして取り扱う。なお、海外保険におけるFVTPLについては、修正利益では除外する</li> </ul>

■

 : IFRS導入後において、日本基準比で損益影響が大きくなる可能性がある項目

□

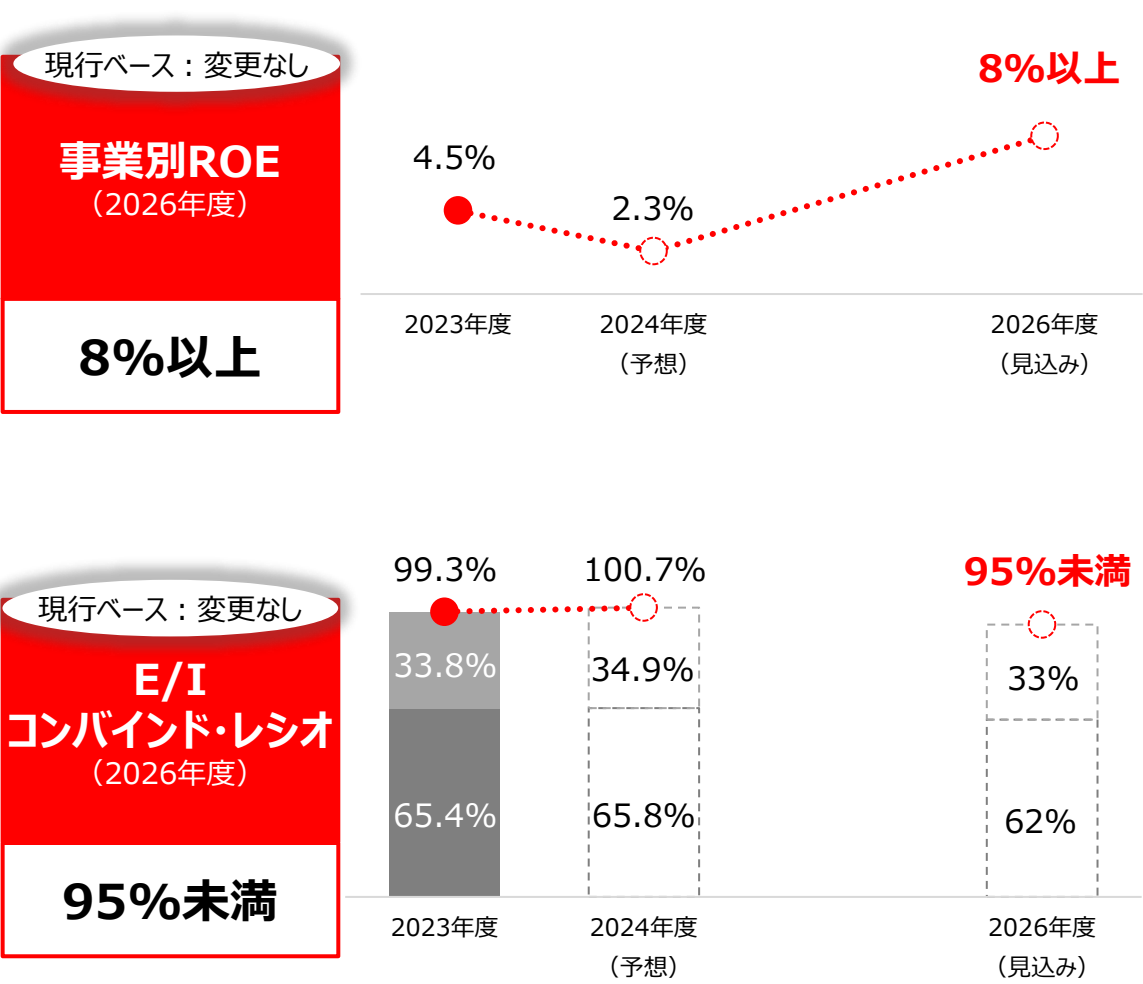
 : IFRS導入後において、損益影響しうるが、日本基準比での影響が限定的と想定される項目

※海外保険事業は、すでにIFRSを導入済みであり、現行の日本基準においてもIFRSに基づいた処理を実施

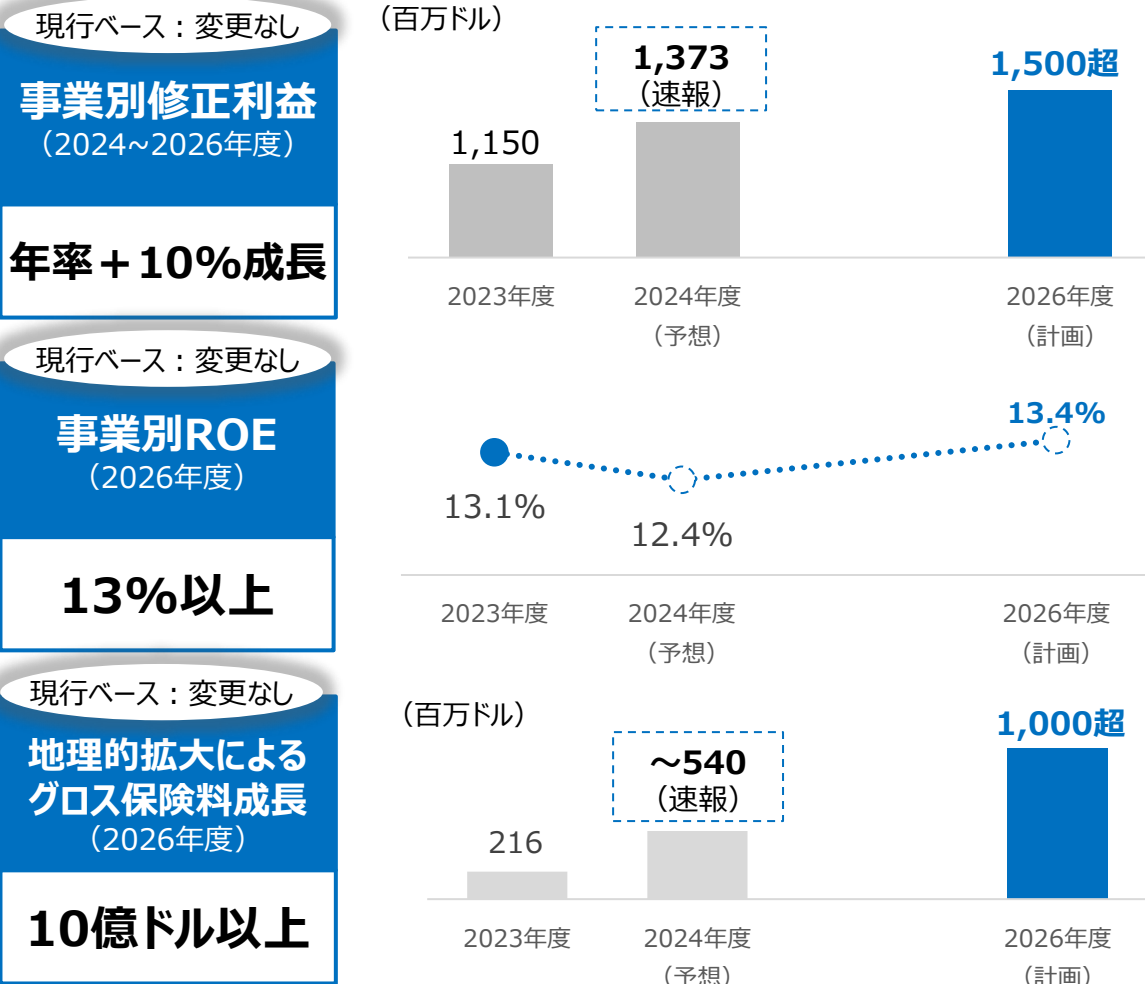
# SOMPO P&Cの主要KPI

- 国内ピア等の比較可能性を担保するため、国内損保事業は現行基準のKPIを継続開示予定
- 海外保険事業はすでにIFRS導入済みであるが、欧州ピアとの比較可能性に鑑みて現行の主要KPIについては参考情報として継続開示

## 国内損保事業のKPI



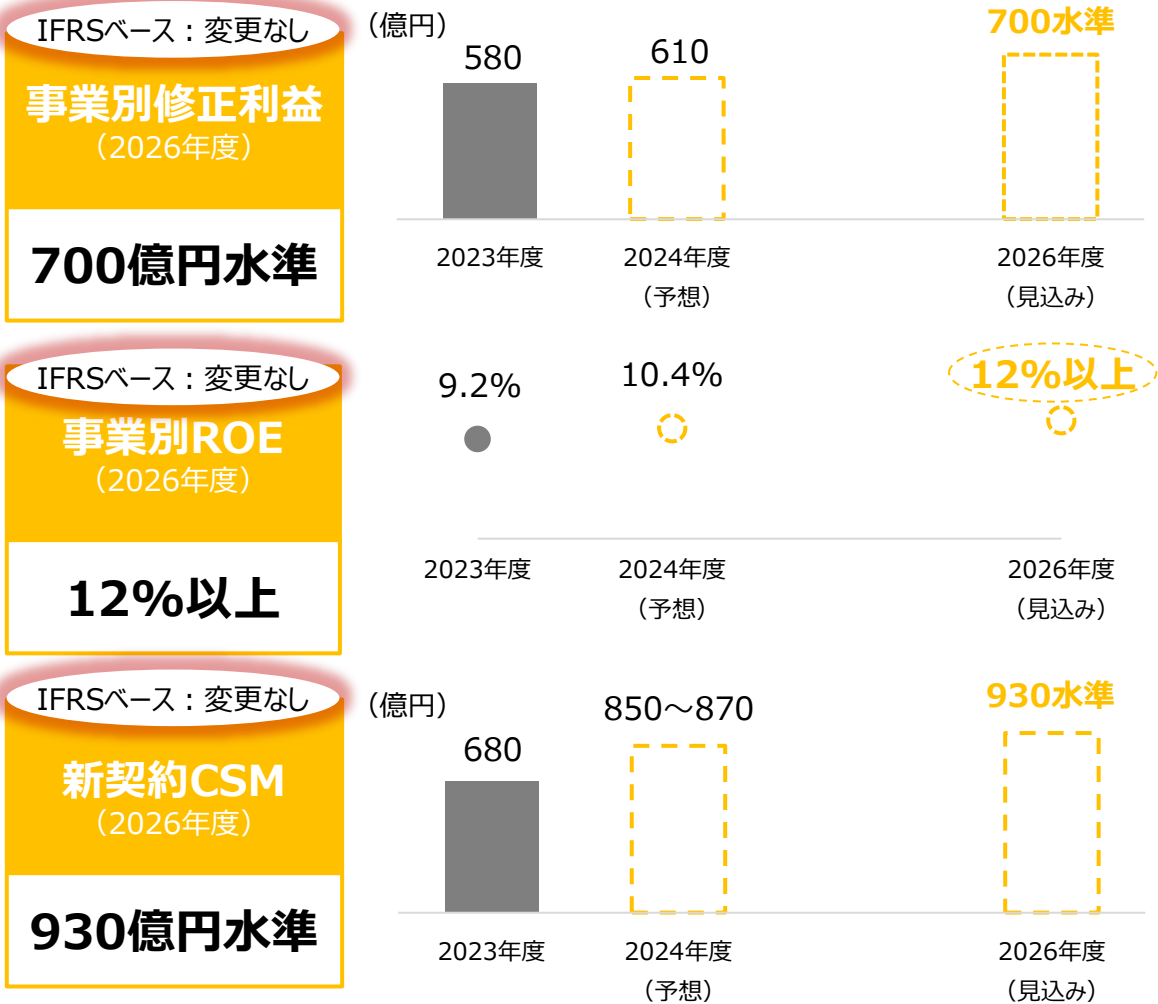
## 海外保険事業のKPI



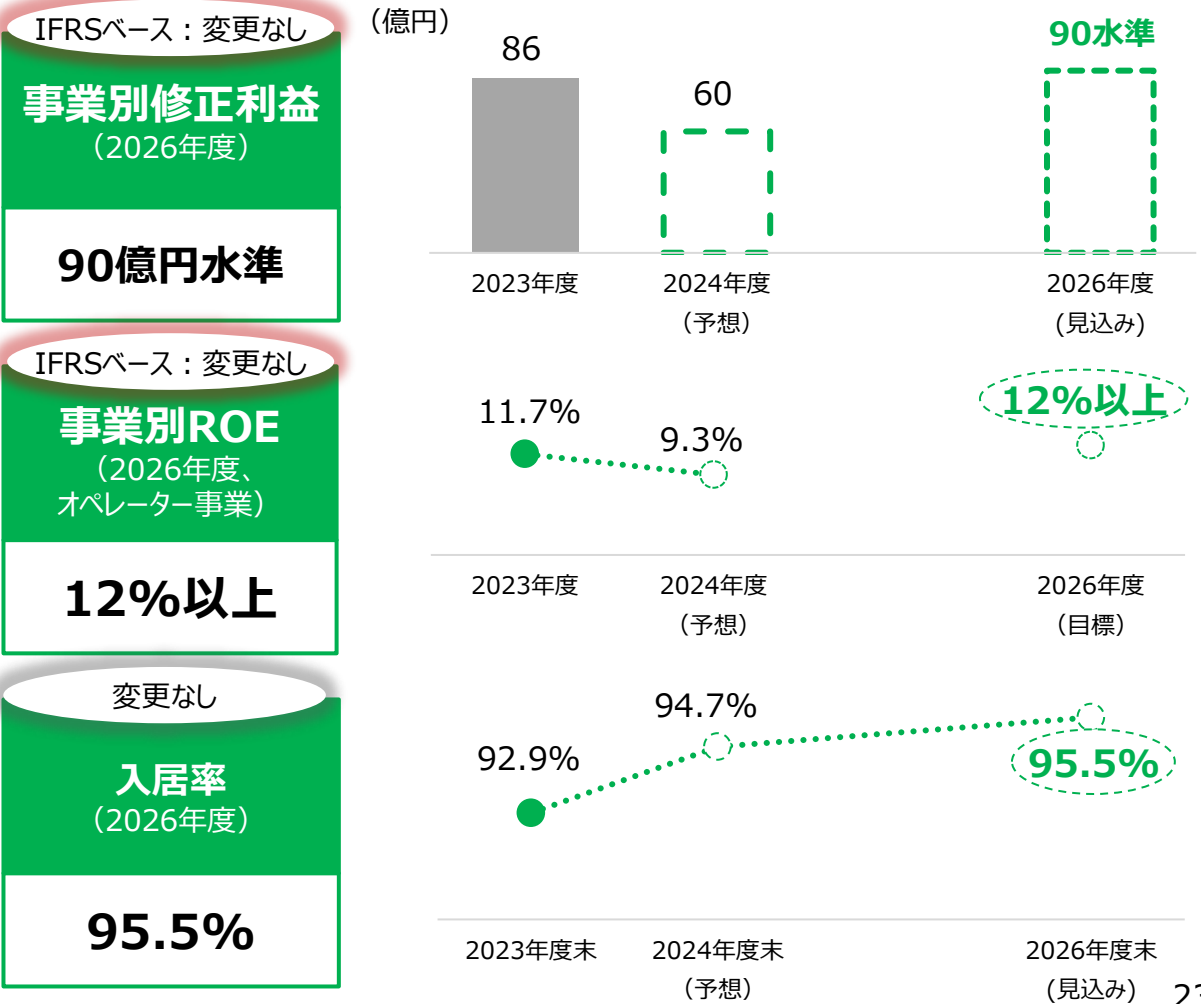
# SOMPOウェルビーイングの主要KPI

- SOMPOウェルビーイングの主要KPIは、予定通りIFRSベースへ移行

## 国内生保事業のKPI



## 介護事業のKPI



略語	正式名称	意味
OCI	Other Comprehensive Income (その他の包括利益)	純損益に含まれない未実現損益などが該当 日本基準でも「 <b>「</b> 其他有価証券評価差額金 <b>」</b> 等が含まれるが、IFRSでは、金利変動による保険負債の含み損益が新たに対象となり得る
FVOCI 金融商品保有区分	Fair Value Through OCI	金融商品会計で、未実現損益（売却・償還等の取引を伴わない、期末時の評価損益）をPLで認識しない（＝OCIを通じて認識する） 金融商品の分類
FVTPL 金融商品保有区分	Fair Value Through PL	金融商品会計で、未実現損益をPLを通じて認識する金融商品の分類
CSM	Contractual Service Margin (契約上のサービス・マージン)	保険負債のうち、保険契約から生じる将来利潤に相当する部分
リスク調整	Risk Adjustment (リスク調整)	保険負債のうち、保険金等の支払が変動する不確実性のために積立てておく部分 (欧州ソルベンシーIIや経済価値ソルベンシー規制におけるリスクマージンに相当)
不利な契約	Onerous Contract (不利な契約)	保険金等の支出が保険料収入を上回る契約
GMM	General Measurement Model (一般測定モデル)	保険負債測定原則法であり、将来CFに基づく経済価値で測定する算出方法 割引後将来CF、リスク調整、CSMから構成される
PAA	Premium Allocation Approach (保険料配分アプローチ)	保険負債測定簡便法であり、日本基準の未経過保険料に類似した算出方法
VFA	Variable Fee Approach (変動手数料アプローチ)	保険負債測定の一つであり、変額保険等（保険契約上明確に特定された運用資産のプールから契約者に支払いがなされる直接連動の有配当契約）に対して、対応する資産側の評価損益を負債計算に適用し、変動手数料部分を利益認識する算出方法

	修正利益				修正ROE※1			
	2023年度実績		2024年度(2024年11月予想)		2023年度実績	2024年度(2024年11月予想)	2026年度目標	基準
	(億円)	現行基準	IFRS基準	現行基準	IFRS基準			
連結※1		2,910	3,350	2,700	3,200	9.2%	12.2%	13~15%IFRS
損保ジャパン※2		736	1,190	315	750	4.5%	2.3%	8%以上現行
海外保険事業※3		1,631	2,100	1,940	2,070	13.1%	12.4%	13.4%現行
ひまわり生命		418	580	410	610	9.2%	10.4%	12%以上IFRS
SOMPOケア※4		60	60	50	50	11.7%	9.3%	12%以上IFRS
その他※5		65	△580	△15	△280			

※ 1 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産（分母は、期首・期末の平均残高）、現行ベース、年率換算  
修正連結純資産 = 連結純資産（除く国内生保事業純資産） + 国内損保事業異常危険準備金等（税引後） + 国内損保事業価格変動準備金（税引後） + 国内生保事業修正純資産  
国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産（J-GAAP） + 危険準備金（税引後） + 価格変動準備金（税引後） + 責任準備金補正（税引後） + 未償却新契約費（税引後） - サープラスリリー再保険効果（税引後）  
事業別ROE = 事業部門別修正利益 ÷ 各事業への配賦資本（事業に属する会社の連結純資産合計またはリスクモデルに基づく必要資本。期首・期末の平均）、年率換算  
事業別ROEは、各事業特性を踏まえ異なる定義で各々設定しているため、事業間比較には適さず、各事業の進捗モニタリングを通じて修正連結ROEおよび各事業別ROE目標値の達成確度を高めることを目的に導入

※ 2 修正ROEは国内損保事業の数値

※ 3 現行基準は1-12月期、IFRS基準は4-3月期

※ 4 修正利益は介護事業の数値、修正ROEは介護オペレーター事業のROE

※ 5 2023年度は特殊要因含む

## 将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 【お問い合わせ先】

**SOMPOホールディングス株式会社**

**I R室**

電話番号 : 03-3349-3913

email : [ir@sompo-hd.com](mailto:ir@sompo-hd.com)

URL : <https://www.sompo-hd.com/>